

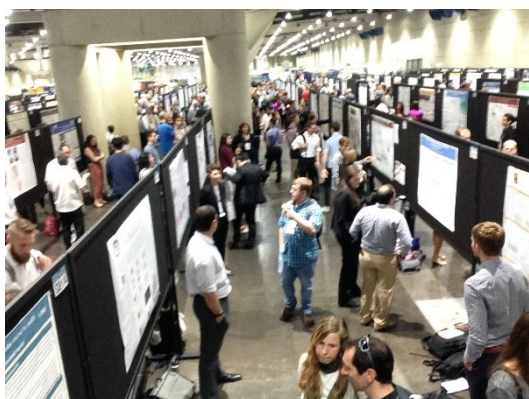
平成 30 年 5 月 14 日
身体運動科学・八田研究室 竹井尚也 (D3)

報 告 書

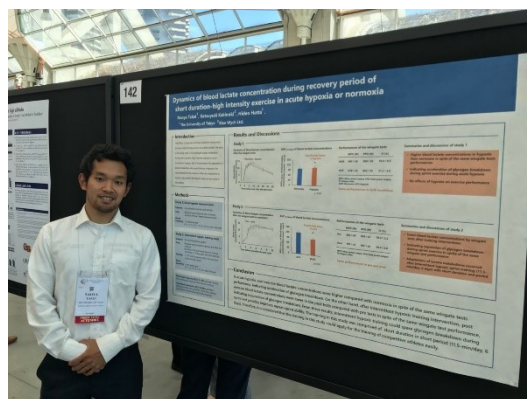
学会名：Experimental Biology 2018

日 時：2018 年 4 月 21 日 - 26 日

場 所：アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ



ポスター発表会場の雰囲気



ポスター発表をする報告者

サンディエゴは、アメリカの西海岸に位置し、カリフォルニア州内では第 2 位の人口を有する大都市である。サンディエゴはメキシコとの国境に面する街であり、街には英語の他にスペイン語の広告や音声案内も多くあったことに驚いた。サンディエゴの 4 月の平均気温はおよそ摂氏 20 度であり、温暖な気候のなか学会は行われた。この度私が参加した Experimental Biology は、生物学系の 5 つの主要な国際学会が合同で主催する国際会議である。解剖学、生理学、分子生物学、病理学、薬理学など多方面からの講演や発表があり、自らの専門外の学問についても世界の優れた研究者から学ぶことができ、大変有意義な国際会議であった。私は 4 月 26 日に生理学分野の「Altitude and Hypoxia」のセッションでポスター発表(演題名：Dynamics of blood lactate concentration during recovery period of short duration high intensity exercise in acute hypoxia or normoxia)を行った。本研究発表は、急性の低酸素曝露が短時間・高強度運動時の乳酸代謝に与える影響について報告したものである。生理学の研究者からのご意見やご質問だけでなく、生理学以外を専門とする研究者からも普段指摘されないような貴重なご意見を頂くことができた。この度の渡航助成により、得ることができた貴重な意見を今後の研究活動に活かし、価値ある研究を進めていきたい。最後に、この度渡航助成に採択していただき、このような経験をさせていただきましたこと御礼申し上げます。